

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和6年度事業点検・評価調書

4-V-3

4-V-3

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	ゴミの分別や喫煙ルール等の策定
節	V.来訪者マナーの醸成	事業主体	佐渡市生活環境課
事業(施策)名	3 ポイ捨て禁止、不法投棄撲滅による環境保全	関連団体	佐渡地区廃棄物対策連絡協議会、佐渡市不法投棄監視員、佐渡を美しくする会
事業実施期間	H28～R6		
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ポイ捨て禁止、不法投棄撲滅の普及啓発により、遺跡周辺の地域の環境美化を図る。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 看板等の設置、関連機関等によるパトロールの強化及び遺跡周辺地域のゴミ拾い等の環境美化活動を行う。 <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ポイ捨てや不法投棄がなくなり環境美化が定着し、美しい環境が保たれている。 		
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ごみゼロ運動(5月下旬)」、「佐渡クリーンアップ【第1弾】(6月下旬)」、「佐渡クリーンアップ【第2弾】(8月下旬)」や佐渡を美しくする会による「1日美化デー(7月下旬)」などの実施にあたり【「世界遺産の島」・「美しい島」の実現に向けた環境美化活動】として世界遺産との関連性を強調し、市報やHP等で情報発信を行ない、ポイ捨て禁止や不法投棄撲滅の啓発をし環境美化に取組んだ。 		
事業計画と実績	<p>【R6年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 環境美化意識が向上し、昨年との実績比較ではボランティアの活動は活発化している。一方、慢性的に不法投棄されるエリアのごみ回収や啓発看板の設置を実施しても効果が得られないことが多い。ポイ捨てや不法投棄しにくい環境基盤として通報等の協力を呼びかけ、全体の意識啓発を継続して行い、ごみに関する情報発信を逐次送信する。 <p>【R6年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 環境美化活動の清掃イベント「佐渡クリーンアップ」を年2回、市内全域で実施。のべ参加人数は昨年の601人を大きく上回る742人が参加。また、ごみゼロの日キャンペーンの清掃活動も昨年の458人から491人へ増加。募集時には世界文化遺産登録前後で募集チラシに表記。島外からの学生ボランティアと協力して海岸清掃や文化交流を行った際、参加者の身内や知人に実体験や世界遺産登録の話を広げてもらうよう協力を求め、次に繋がる取組を実施した。 		
事業評価	<p>【ゴールに対する計画終了時の達成度】</p> <p>[A・(B)・C]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ ゴールの「ポイ捨てや不法投棄がなくなり環境美化が定着し、美しい環境が保たれている」に対する評価として、コロナ過の影響を受けたが、活動再開された令和3年以降は、参加者が年間3千人程度から5千人以上に増加している。回収量もそれに伴って増加していることから、ゴールに対する達成度は高いと考える。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■ 不法投棄される事案が絶えないことから、今後も継続して美化活動の推進が必要である。 		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。